

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業	
事務事業名 (仮称)堺市総合防災センター整備事業		シート番号			90-01	
担当部署名 消防 局 総務 部 総務 課		評価責任者(課長名)			古川	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 21 年度		終了(予定)年度	令和 3 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	(仮称)堺市総合防災センター整備計画、新市建設計画、地域防災計画			
5	事業実施の経緯	南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念される中、自助・共助・公助による地域の総合防災力の向上のため、新市建設計画の後期事業として、美原区域に(仮称)総合防災センターの整備を位置付けられている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	消防職員、消防団員、自主防災組織、市民等			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	本市における防災に関する中核拠点施設として、自助、共助、公助を総合的に推進し、地域総合防災力の向上を図るとともに、地震災害等により消防局庁舎が被災し機能できない場合でも、災害対策活動を継続して実施できるような代替機能を有した防災拠点を整備することで、政令指定都市としての災害対応力の向上を推進する。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	平常時の機能として、消防職員及び消防団員が複雑多様化する災害等に対応するための教育や訓練等を実施するとともに、自主防災組織や地域の防災リーダー、企業の従業員、小中学生など市民の方々から訓練の実施や防災知識を学ぶための機能を有する。また、災害用の備蓄倉庫などを整備する。 大規模地震等の非常時の機能として、全国からの緊急消防援助隊等の集結場所としての機能や、消防局庁舎などが被災した場合における代替機能、支援物資の配送拠点機能などを有する総合的な防災拠点の整備を図る。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

Ⅲ. 投入量

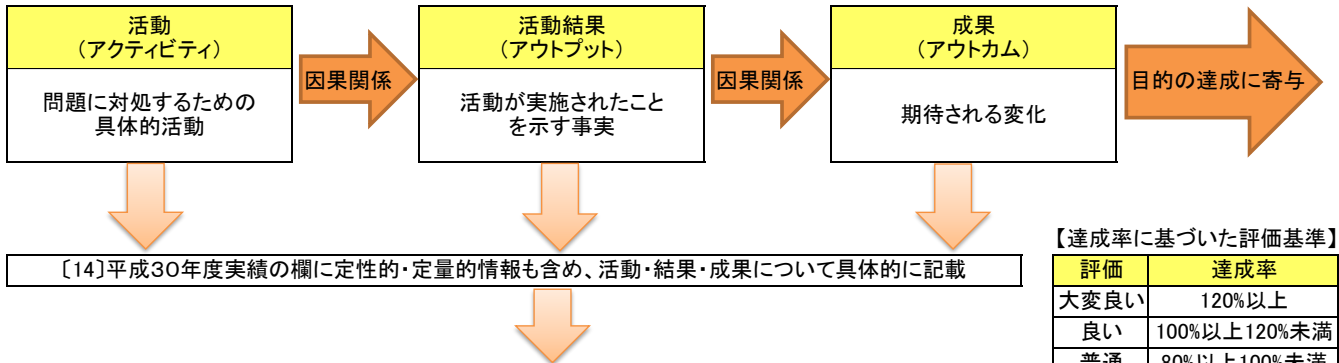
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	0	316,887	258,844	306,766	
	主な事業費内訳	造成外工事	千円		252,400	131,200	272,838
		造成工事監理業務	千円				33,928
		建設工事設計業務	千円		49,800	116,520	
		展示設計業務	千円		5,400	11,124	
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円		285,700	146,900	299,000
		その他(下水管敷設工事負担金)	千円			73,428	7,689
		一般財源	千円		31,187	38,516	77
12	人件費 (b)	千円	4,100	4,100	4,100	4,050	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,100	320,987	262,944	310,816	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	(仮称)堺市総合防災センター整備事業	シート番号	90-01
-------	--------------------	-------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>平成30年度においては、(仮称)堺市総合防災センターの整備において、(仮称)堺市総合防災センター敷地造成外工事を実施している(工期:令和元年12月まで)。(仮称)堺市総合防災センター建設工事設計業務及び展示実施設計業務については、平成30年度に実施完了したものの、(仮称)堺市総合防災センター整備事業については、令和3年度に供用開始予定であり、今後についても適宜整備を進めていくものである。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		敷地造成外工事	目標値		25	70	100
			実績値			25	70
			達成率			100%	100%
	評価			良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		造成工事着手から完了までの進捗状況を月割で設定するもの。				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		(仮称)堺市総合防災センター整備進捗	目標値	24	39	54	69
			実績値	24	39	54	
達成率			100%	100%	100%		
評価	良い	良い	良い				
算出方法・設定根拠など		用地取得から供用開始までの月数で現在時を割り出し、目標値としたときの整備進捗率					

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
総合防災センター事業は、マスタープラン掲載事業であり、他部局との連携は必須であり、その連携が図れたことが目標の達成につながったと考える。今後は他機関、他部局との連携を密に行い、事業の実施を継続させていくことが必要である。	

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。